

# 會務報告

第 25 卷 第 5 號 昭和 14 年 5 月

## 役員會

### 第 3 同理事會 (昭 14. 3. 13.)

出席者：堀越、谷口兩副會長、山崎、高橋、和田各理事、中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任

### 議事

1. 會誌編輯委員會委員を次の通り選定依頼することとせり。

委員長 廣瀬孝六郎君(新任)、山崎匡輔君(退任)

委員 伊藤 信君、立花次郎君、太田尾廣治君、風間武雄君、黒澤喜代治君、安宅 勝君、當山道三君……以上重任

大石 勇君、松村孫治君……以上新任  
大岡禮三君、野口誠君、伊藤 剛君 以上退任

2. 昭和 14 年度更正豫算別表(省略)の通り承認することとせり。

3. 第 82 回講演會に於て滿洲國より來會、講演せられたる本間徳雄、近藤謙三郎兩君に對し特に記念品を贈呈することとせり。

4. 入退會の件別紙の通り承認せり。

### 第 4 同理事會 (昭. 14. 4. 10.)

出席者：堀越、谷口兩副會長、山崎、高橋、和田、岡田、稻葉各理事、中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任、糸川編輯主任

### 報告

1. 關西支部第 3 回役員會議事を報告せり。
2. 西部支部第 3 回役員會議事を報告せり。
3. 第 4 回工學會大會委員會の協議事項を山崎委員より報告せり。

### 議事

1. 支部交附金額は別表(省略)の通り決定せり。
2. 支部會議開催日を 4 月 26, 27 日頃とし會長の都合を聴き決定することとせり。
3. 日本工學會より申出での防空に關する座談會開催に就ては同意の旨回答することとせり。
4. 工業品規格統一調査會より諮問に係るコンクリート用丸鋼の規格統一に關しては岡田調査部長調査報告の通り(12mm を 13mm とする)回答することとせり。

せり。

5. 會誌編輯委員會委員立花次郎君退任に伴ひ委員に佐藤輝夫君、本間 仁君を依頼することとせり。

6. 外人功績調査委員會に於て協議決定せる北海道に於ける外人功績資料の謄寫料及寫眞その他代金の支出及高倉氏への謝禮は提案の通り贈呈することとせり。

7. 春季視察旅行は名古屋市を中心とし愛岐今渡發電所視察及日本ライン下りを 5 月中旬舉行することとせり。

8. 25 周年記念事業計畫に關し小委員會に於て協議決定したる計畫案に基づき逐條審議の結果下記の通り決定せり。

計畫要綱は次の如し。

(1) 會長講演(ラヂオ放送)記念講演會前日

(2) 記念有志晩餐會、講演會、見學會の開催

開催期日：昭和 14 年 10 月 18 (水)、19 (木)、20 (金) 日の 3 日間

第 1 日：晩餐會 18 日午後 4 時 30 分 於精養軒 餘興 奇術、講談

晩餐會主任 山崎總務部長

第 2 日：講演會 19 日午前中 於鉄道協會 見學會 午後 1 時より(見學場所別記)

第 3 日：同上 20 日 同上

講演委員會を設け委員長に草間 偉君を推し、座長に青山君(内)、久保田君(鉄)、草間君(大)、井上君(民) 及委員若干名を置く。

見學會主任 和田編輯部長

講演部門及數( )内の數字は講演數

第 1 日：応用力學(2) 山口君、材料(1) 山崎君、コンクリート(1) 吉田君、銲接(1) 田中君、都市計畫(1) 春藤君、道路(1) 佐藤君、鉄道(3) 隧道(1) 堀越君、阿會沼君、橋口君

第 2 日：橋梁及構造物(2) 田中君、水理(1) 本間君、河川(2) 谷口君、水力發電(1) 高橋(三)君、堰堤(1) 吉田君、上下水道(2) 草間君、港灣(1) 關君、測量(1) 關君、施工法(1) 山崎君

講演者の設備は以上各部門に記せる諸君

に依頼すること

見学場所(候補)

第1日: 新宿御苑, 鉄道省大宮工場, 片倉製絲工場,  
燃料研究所, 川口鑄物工場

第2日: 東京港, 滿鉄埠頭, 旭ガラス工場, キリン  
ビール工場

(3) 土木工学論文抄録を發刊全會員に配布(昨年委員  
會を設置し編纂中)

(4) 土木學會誌記念號(講演集)の發刊

(5) 會員増加計畫 1 萬名に増加を目標とし入會を  
勧誘すること, 而して之に關係して朝鮮に支部設置を計  
畫することとし不取敢山崎總務, 高橋經理兩部長より次  
の諸君に依頼狀を發すること

棟業孝平, 清水幸次, 伏島信九郎, 江崎義人, 横井  
増治, 市村 定, 本間孝義, 久保田 豊の諸君

(6) 記念事業資金の調達

調達の方法は全國土木関係者よりの寄附金及會誌記  
念號に廣告を募集することとし委員會を設置して具体  
案を作成すること, 委員には次の諸君を依頼すること

記念事業資金調達委員會委員

阿曾沼 均君, 井上隆根君, 伊藤横次郎君, 衣斐清  
香君, 河口協介君, 佐藤忠三郎君, 佐藤利恭君, 佐土  
原勳君, 鈴木雅次君, 高井信一君, 高橋嘉一郎君, 高  
橋三郎君, 高橋甚也君, 辰馬謙藏君, 三浦義雄君, 山  
崎匡輔君, 吉岡計之助君, 吉田 直君, 和田重辰君,  
外陸軍省 1 人

(7) 記念事業費豫算を別紙(省略)の通り 36700 円  
とし寄附金及記念廣告料の収入を以て充當すること

(8) 記念事業資金調達に關する依頼狀並に廣告料及  
贊助規定を別紙(省略)の通りとすること

9. 古市家より寄贈ありたる故古市男爵傳記を別紙  
(省略)の前役員, 現役員, 支部長, 幹事長等 83 人に配  
布することとせり。

第2 同常議員會(昭. 14. 3. 13.)

出席者: 堀越, 谷口兩副會長, 岡田(實), 川口, 春藤,  
高橋(嘉), 高橋(三), 瀧尾, 百武, 松本, 目  
黒, 山崎, 和田各常議員, 鶴見支部長, 中村  
書記長, 小野寺庶務主任, 朝倉會計主任, 糸  
川綱輔主任

報 告

1. 地下構造物に於ける鋼材節約調査委員會委員長  
に堀越清六君を依頼せり。

2. 日本土木建築業組合聯合會鉄鋼統制委員會本會  
代表顧問に谷口三郎君を選出せり。

3. 日本工學會編纂委員會本會選出委員に廣瀬孝六  
郎君を選出せり。

4. 會誌編輯委員會委員を別紙(理事會議事参照)の  
通り変更依頼せり。

5. 4 月 14 日東日會館に於て別紙(省略)の通り  
映畫會を開催することとせり。

6. 2, 3 月の入退會を別紙(省略)の通り承認せ  
り。

議 事

1. 昭和 14 年度更正豫算を別表(省略)の通り承認  
せり。

2. 4 月下旬に於て支部長會議を開催することとせ  
り。

3. 技術者配給統制に關し時局對策委員會に於て調  
査したる配給實例の 2, 3 に依り配給統制に就き意見  
の交換を行ひ今後も引続き研究することとせり。

4. 本會創立 25 周年記念として講演會, 見學會, 會  
誌記念號, 土木工学論文抄録の發行等の事業を行ふこ  
ととし, 小委員に山崎, 高橋兩理事, 岡田(實), 鈴木,  
瀧尾各常議員を挙げ計畫することとせり, 而して本年  
10 月福岡市に於て開催豫定の第 3 回年次學術講演會  
は延期することとし, その旨西部支部に通知すること  
とせり。

## 總 務 部 記 事

第 10 同時局對策委員會(昭. 14. 3. 9.)

出席者: 上村義夫君, 山本 弘君

中川委員長, 眞田, 米元, 久保田, 高橋, 榎  
木, 伊藤各委員, 堀越, 谷口兩副會長, 山崎  
稻葉, 岡田(實), 瀧尾, 百武各常議員, 那波  
青山, 辰馬各前會長, 中村書記長, 小野寺庶  
務主任, 朝倉會計主任

議 事

1. 久保田委員より本年度に於ける技術者配給統制  
に關し提案あり協議をなす。次いで本年 2 月南支派  
遣軍調査班臨時調査員として南支方面を視察せられた  
鐵道技師上村義夫君の南支に於ける風物及所有角度より  
見た諸施設各般に涉る講話を聴き認識を新にし, 晩  
餐後臨時政府建設總署天津水利工務局參事山本 弘君  
の天津附近の土木施設就中事變前の洪水と天津治安關  
係に就き興味ある講話あり以上終つて再び技術者配給  
統制に關し各委員の意見交換あり結局 2, 3 の實例を  
調査し參考とすることとし午後 9 時散會せり。

**土木学会文化映畫委員會 (昭. 14. 3. 10.)**

出席者： 瀧尾、金子、廣田、下山各委員、小野寺庶務主任

**協議事項**

1. 「映畫の夕」プログラム作成に就て協議せり

**土木学会文化映畫委員會 (昭. 14. 3. 15.)**

出席者： 瀧尾、金子、横田、片平、下山各委員、徳丸君、小野寺庶務主任

**協議事項**

1. 「映畫の夕」プログラムの作成をなせり。
2. 上映映畫の試寫をなせり。
3. 當選シナリオの加稿に就き検討せり。

**土木学会文化映畫委員會 (昭. 14. 3. 22.)**

出席者： 瀧尾、金子、横田、片平、下山各委員、小野寺庶務主任

**協議事項**

1. 勝関可動橋を撮影して映畫會に上映することに就き協議し下山委員に撮影を依頼することとせり。

**土木学会文化映畫委員會 (昭. 14. 4. 6.)**

出席者： 瀧尾、横田、片平、下山各委員、徳丸君、小野寺庶務主任

**協議事項**

1. 勝関可動橋寫眞の試寫をなせり。
2. 本委員會に於て土木に關する映畫作成に就き積極的に働きかけることとし其の筋書等に就て協議せり。

**外人功績調査委員會 (昭. 14. 3. 16.)**

出席者： 那波委員長、眞田副委員長、中川、名井、丹羽、安藝、茂庭、伊藤、上村各委員、江澤囑託、谷口副會長、中村書記長、小野寺庶務主任

**協議事項**

1. 江澤囑託より大体調査終了を見たる下記の資料を報告し編纂方法に就き協議せり。

ミルン、バルトン、パーマー、ゴープル、タイエル、クローフォールド、モレル、デレーケ (1部)

2. 北海道帝大助教高倉農学士へ調査を依頼せる北海道關係資料入手せるに依り之を報告せり。

3. 北海道關係資料調査費 (謄寫料、寫真代その他) 122 円 90 銭の支出並に高倉氏へ謝禮として 50 円を贈呈することとせり。

**25 周年記念事業計畫委員會 (昭. 14. 3. 27.)**

出席者： 山崎、高橋(嘉)、岡田(實)、鈴木各委員、

中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任

常議員會に於て選ばれた上記委員出席し協議の結果實施すべき記念事業及其の要綱を別項 (理事會記事参照) の如く決定し之を理事會に報告することとせり。

**編輯部記事****第 4 回會誌編輯委員會 (昭. 14. 4. 5.)**

出席者： 伊藤、大石、太田尾、黒澤、佐藤、當山、松村、安宅各委員、糸川編輯主任

**協議事項**

1. 第 25 卷第 4 號所載原稿謝禮を決定す。
2. 第 25 卷第 5 號に講演記事「滿洲國水力發電事業に就て、會、本間徳雄」を追加す。

3. 第 25 卷第 6 號登載記事を下記の如く決定す。

論說報告： 橋脚用特殊型井筒基礎工の水平力に對する安定て就て (准、酒井信夫)、円形填充物を有する板の引張り (准、谷本勉之助)、上路補剛桁桁を有する拱橋に關する研究 (會、小澤久太郎)、軸圧と横圧とを受くる長柱の撓み並に軌條の浮上り撓屈に就て (會、稻田 隆)、上下弦に任意の慣性モーメントを有するフイーレンディール樑の応力算定法、其の I (准、佐藤清一)。

彙報： 京都市號上淨水場擴張計畫 (會、山本與一郎)

抄録： ラーメン隅角部に於ける応力分布に關する實驗、ロバートリッジウエイ氏逝去す、工費低廉な滑走路、航空港の照明法 (I)、高さ 400 呎の塔の設計、人力のみで作つた支那の道路、獨逸國有自動車道 Berlin 環狀線の工事狀況、機關車内信號反応裝置、オイル、シヨベル型エクスカベーター、Moffat 隧道に於ける軌條防蝕對策、薄鋼板を使用した鉄筋コンクリート桁、Chicago, Clearing 操車場のカーリターダ、セメントに依る道路基礎固定法、水底に於ける Coffordam piles の切断、北米 Kanawha 河改修計畫に使用せるコンクリート、長大徑間桁桁橋梁の支承部分更換、鉄筋コンクリート絞及橋承、イラン横断鉄道北部山岳線。

4. 日本工學會發行「工學工業年報」に對する寄稿に關する打合せを爲し、各委員に於て各々の分擔部門に於て執筆することとす。

**調査部記事****第 18 回請負工事標準契約書調査委員會 (昭. 14. 3.**

28.)

出席者：阿曾沼(代理望月), 菅野, 近藤, 富永, 宮長, 森田各委員, 岡田調査部長, 小野寺庶務主任

1. 第 17 回委員会に於て決定したる工事請負規程に對し會員より字句の修正意見ありたるを以て之を審議せり。

第 19 回請負工事標準契約書調査委員会(昭. 14. 4. 4.)

出席者：阿曾沼(代理三浦), 稻葉, 菅野, 近藤, 富永, 宮長, 森田各委員, 岡田調査部長, 望月君, 小野寺庶務主任

1. 前回に引続き工事請負規程の各條項字句に就き審議完了せり。

第 4 回關東及關西地方水害調査委員会(昭. 14. 4. 7.)

出席者：眞田委員長, 富永, 三浦兩幹事, 岡部, 沖鹽, 金子, 河口, 高橋(代理松岡), 花房, 樋浦, 松井, 宮本各委員, 小野寺庶務主任

#### 協議事項

1. 各部主査より調査表取纏めに就き報告あり協議の結果 5 月 11 日開催の委員会までに全部門の報告を整備し持寄ることとせり。

### 關西支部記事

第 3 回役員會(昭. 14. 3. 14.)

出席者：福留支部長, 荻原幹事長, 鮫島, 堀兩幹事, 稻浦, 石原, 荻野, 三好, 林, 鈴木, 平野各商議員, 岩田, 坂本, 清水, 島崎, 高西各前支部長, 山本主事

#### 議 事

1. 3 月座談會開催の件
  2. 4 月見學會の件
  3. 5 月巡回講演會の件
  4. 6 月通俗講演會の件
  5. 前幹事柴田辰之進君記念品贈呈の件
- 各種委員会の開催

1. 土木事業計畫審査委員会第 4 回港灣部會(昭. 14. 3. 11.)

### 西部支部記事

第 3 回役員會(昭. 14. 3. 4.)

出席者：君島支部長, 佐藤, 志道, 土肥, 松尾, 三瀬, 山田各商議員, 鮫島幹事長, 安藤, 大川, 細川各幹事

#### 報 告

1. 昭和 13 年度決算報告
2. 事業資金募集経過報告

#### 議 事

1. 第 3 回年次學術講演會計畫
2. 巡回通俗講演會(熊本市)計畫

### 日本工學會記事

○昭和 14 年 3 月 10 日編輯委員会第 1 回會議開催次の諸件を決定せり。

1. 工学工業年報發行に關する件
2. 工学と工業出版に關する件
3. 次回委員会開催の件

○昭和 14 年 3 月 23 日第 4 回日本工學會大會委員会第 1 回會議を開催し次の諸件に就き協議せり。

1. 大會日程及會場の件
2. 分擔委員決定の件
3. 外國への勧誘の件
4. 講演會の件
5. 大會豫算編成の件
6. 本委員会今後の方針

○昭和 14 年 3 月 27 日評議員會を開催し一般事務を報告し, 次いで下記事項を決議せり。

1. 社員總會に提出すべき事項に關する件(總會記事参照)

○昭和 14 年 3 月 27 日社員總會を開催し次の報告及決議を爲せり。

#### 報 告

1. 昭和 13 年度日本工學會事務報告
2. 同 事業報告
3. 同 收支決算及資産貸借對

照表並に特別會計收支報告

#### 決 議

1. 昭和 14 年度日本工學會收支豫算の件

### そ の 他 記 事

○昭和 14 年 4 月 1 日土木學會誌第 25 卷第 4 號を發行成規の手續を了し, 全會員に配布せり。

---

 入 會 及 転 格 會 員
 

---

## 會 員 (入 會)

水 野 綱 太 郎 君 門 司 市 役 所 水 道 課

## 准 員 (入 會)

七 條 一 馬 君	北 海 道 廳 帶 廣 土 木 事 務 所	武 田 四 郎 君	北 海 道 廳 帶 廣 土 木 事 務 所	金 東 戊 君	株 式 會 社 鐵 高 組
紫 森 寛 祐 君	〃	長 田 季 治 君	〃	中 村 耕 三 君	京 阪 電 氣 鉄 道 會 社
島 弘 君	京 城 府 廳 工 營 部 土 木 課	小 野 寺 有 一 君	日 本 製 鉄 會 社	宮 島 規 矩 夫 君	株 式 會 社 鐵 高 組

## 学 生 員 (入 會)

小 山 内 清 澄 君	東 京 高 工	坂 本 孝 一 君	東 京 高 工	堀 内 嘉 幸 君	日 大 工 学 部
小 野 崎 祿 治 君	〃	鈴 木 嘉 四 郎 君	藤 本 高 工	堀 江 正 水 君	東 京 帝 大
及 川 清 君	〃	孫 泳 學 君	早 稻 田 高 工	丸 浦 卓 君	東 京 高 工
門 田 昌 生 君	〃	高 橋 久 登 君	東 京 高 工	三 島 慶 三 君	東 京 帝 大
川 口 俊 六 君	東 京 帝 大	高 橋 好 郎 君	東 京 帝 大	山 口 純 雄 君	東 京 高 工
韓 基 榮 君	東 京 高 工	服 部 忠 夫 君	東 京 高 工	山 下 嘉 治 君	京 都 帝 大
北 村 新 藏 君	東 京 帝 大	林 雅 雄 君	東 京 帝 大	米 澤 治 君	東 京 帝 大
草 間 久 君	東 京 高 工	原 正 人 君	〃	菅 一 義 君	東 京 高 工

---

 土 木 学 會 々 員 數
 

---

會 員	准 員	学 生 員	特 別 員	賛 助 員	合 計
3 207	3 770	1 182	82	21	8 262

會 員 伊 藤 功 君 の 訃 報 に 接 す、本 會 は 恭 しく 哀 悼 の 意 を 表 す。

准 員 石 井 爲 正 君 の 訃 報 に 接 す、本 會 は 恭 しく 哀 悼 の 意 を 表 す。

# 秋田縣下の震災状況

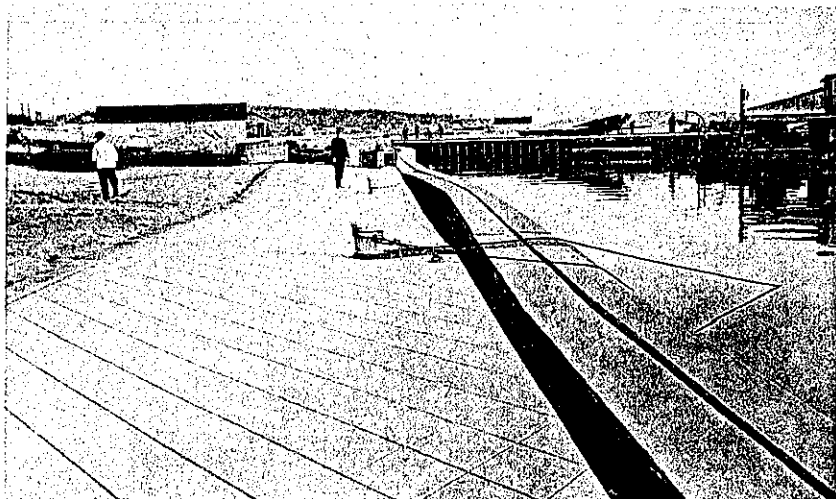
土  
25下  
12/14

飛行機より見た北浦  
海岸の断層



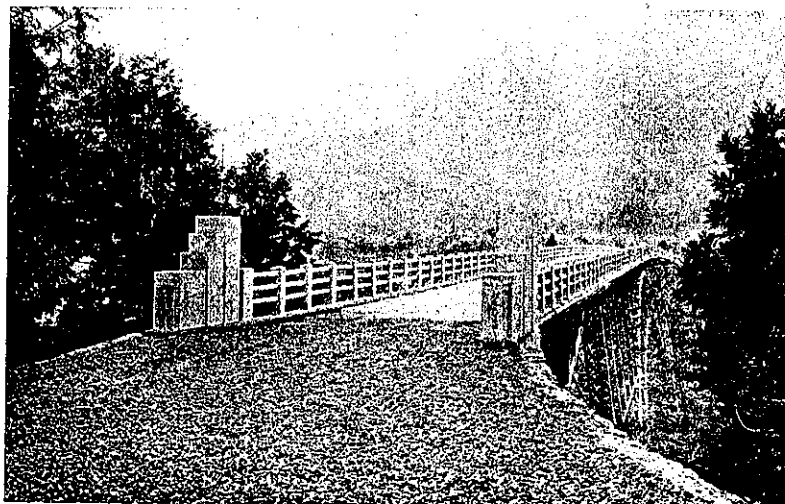
五里合村琴川部落に於ける  
農家の半潰状況  
(構造は良好である)

土崎港第2種物揚場の  
震害状況  
(水深 3.0m, L 型  
擁壁)



# 竣功せる東京府奥多摩橋

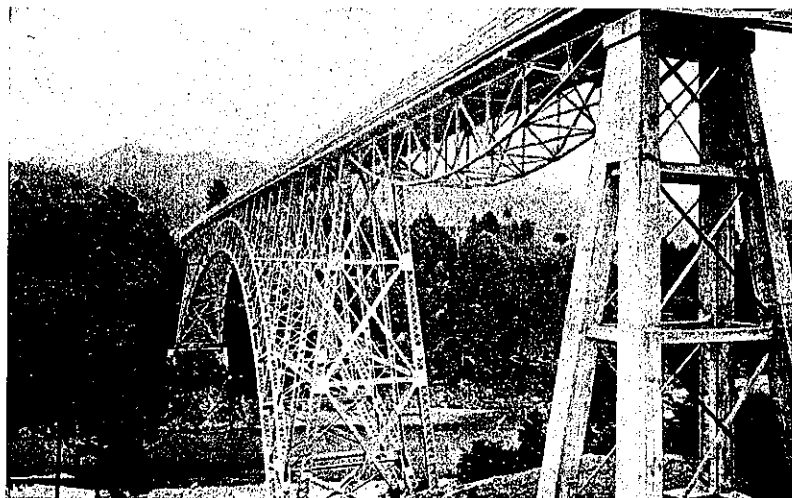
(時報欄参照)



左岸より望む



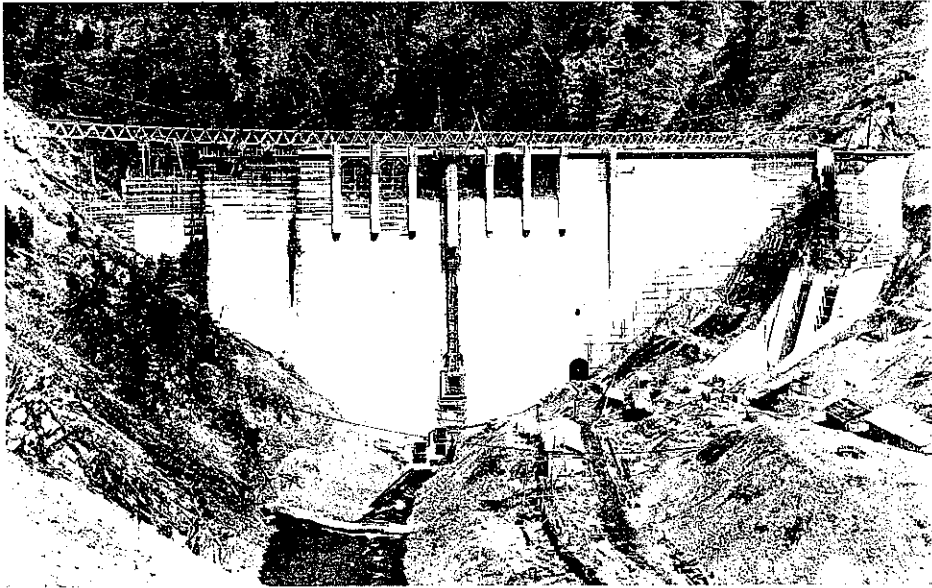
下流側より望む



右岸上流側より望む

# 廣島電氣立岩堰堤工事狀況

堰堤正面 (左方下部開口部は假排水隧道, 右方開口部は假縣道)



堰堤背面 (左方開口部は假縣道)



工事名:	廣島電氣株式會社立岩堰堤	太田川上流	集水面積 120.55 km <sup>2</sup>
位置:	廣島縣山縣郡戸内町地内	堰堤	
堰堤構造:	重力式溢流型コンクリート堰堤	高さ 67.43 m (固定堰堤 60.00 m)	可動堰堤 4.50 m)
		堰頂長 179.00 m	堰頂幅 5.00 m
		堰幅 86.16 m (堰体部 54.06 m)	水叩部 32.10 m)
		法勾配 上流側 1:0.07, 下流側 1:0.80	
		堰体積 135,500 m <sup>3</sup>	Tainter gate 6-4.50×5.80 m
貯水池:	満水前堰高 507.670 m	満水面の面積 892,000 m <sup>2</sup>	
	貯水量 總大 17,200,000 m <sup>3</sup>	有效 15,200,000 m <sup>3</sup>	
	水深 最大 58.00 m	有效 28.00 m	
使用水量:	最大 14.50 m <sup>3</sup> /sec	常時 5.40 m <sup>3</sup> /sec	
有效落差:	121.79 m	常時尖頭 98.73 m	常時 111.93 m
發電力:	尖頭時 14,500 kw	常時尖頭 11,000 kW	常時 4,900 kW



# 北海道に於ける地方費道の一景

大正天皇の御大典事業として大正3,4年に跨り約5萬本植樹したるものにして苗木は落葉松の1年生を大正2年に長野縣より取り寄せ事務所廳を苗圃として移植す

## (上) 片側並木道

地方費道札幌根室線中帯廣芽室間元アイヌ学校附近より芽室市街に向つて



(下) 兩側並木道 地方費道帯廣網走線中帯廣谷更間木野停車場附近より管更市街に向つて

